

平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3710 URL <http://www.jorudan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	3,683	4.6	423	△9.0	434	△8.0	219	2.0
23年9月期第3四半期	3,522	4.7	464	△5.4	472	△4.3	215	△15.5

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 215百万円(△3.4%) 23年9月期第3四半期 222百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	42.40	—
23年9月期第3四半期	41.38	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	4,614	3,542	74.4
23年9月期	4,381	3,361	74.2

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 3,434百万円 23年9月期 3,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	1.3	650	1.1	655	0.5	340	7.3	65.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益につきましては、第1四半期連結会計期間における自己株式取得及び当第3四半期連結会計期間における自己株式処分に伴う期中平均株式数の変動を反映した修正を行っております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年9月期3Q	5,255,000株	23年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	35,403株	23年9月期	48,703株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年9月期3Q	5,182,534株	23年9月期3Q	5,206,389株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成23年10月1日～平成24年6月30日）におけるわが国経済は、景気が依然として厳しい状況にあるものの緩やかに回復しつつある一方で、海外経済の状況等がわが国の景気に対するリスクとなっており、注意が必要な状況となっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は横ばいから緩やかな増加傾向となっており、情報サービス業及びインターネット附随サービス業の売上高は前年同四半期（平成22年10月1日～平成23年6月30日）と比べ増加傾向にあります。このような中、スマートフォンの急速な普及や次世代高速無線通信サービスの充実等、メディアの融合に向けた動きが加速してまいりました。携帯電話・スマートフォンにつきましては、当第3四半期連結累計期間末（平成24年6月末）にはインターネット接続の契約数が1億件を超えており、インターネット端末として広く浸透しております。

当社グループにおきましても、インターネットでの更なる事業展開の基盤を確立してまいりました。モバイル向けに提供いたしております各種「乗換案内」サービス（携帯電話サイト・スマートフォンアプリ・スマートフォンサイト）の検索回数は平成24年4月には月間約1億8,000万回となっており、多くの方々に広くご利用いただいております。

このような環境の中で、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は3,683,461千円（前年同四半期比4.6%増）、営業利益は423,070千円（前年同四半期比9.0%減）、経常利益は434,791千円（前年同四半期比8.0%減）、四半期純利益は219,722千円（前年同四半期比2.0%増）という経営成績となりました。

売上高につきましては、各セグメントにおいて売上高が概ね前年同四半期並みから増加となっており、その結果、全体としても前年同四半期と比べ増加いたしました。営業利益につきましては、前年同四半期と比べ、その他セグメントにおいては利益が増加しておりますが、マルチメディア事業セグメントの営業損失及びセグメントに配分していない費用等が増加しており、営業利益全体としては減少いたしました。これにより、経常利益につきましても前年同四半期と比べ減少しております。四半期純利益につきましては、前年同四半期に計上していた投資有価証券評価損がなくなったこと等の影響で、前年同四半期と比べ微増となっております。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(乗換案内事業)

乗換案内事業は全体として、売上高・営業利益ともに概ね前年同四半期並みとなりました。製品・サービス別の状況を踏まえた主な変動要因は以下のとおりであります。

モバイル向けの事業につきましては、モバイル向け有料サービスである「乗換案内NEXT」とスマートフォン向け有料版アプリケーション「乗換案内Plus」を合わせた会員数は、当第3四半期連結累計期間末には約52万人となっております。その結果、売上高は減少しておりますが、フィーチャーフォンの会員数が減少する一方でスマートフォンの会員数が増加しております。

「乗換案内」の法人向け製品の売上高につきましては、前年同四半期と比べ増加しております。これは主に、ASPサービスの「ジョルダンクラウド」の売上増加に加え、他社サービス向けの売上が順調に推移したことによるものであります。また、旅行関連事業につきましても、契約法人向けの取扱等が増加しており、売上高は前年同四半期と比べ増加しております。

以上の結果、乗換案内事業全体としては売上高2,884,196千円（前年同四半期比1.8%増）、営業利益835,313千円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

(マルチメディア事業)

マルチメディア事業では、出版につきましては、総合オピニオン誌『表現者』を発行しているほか、「ジョルダンブックス」として書籍を発売しております。当第3四半期連結累計期間においては『得する！スマホ研究所 Vol.2 通信プラン節約術』等を新たに刊行しております。

またモバイル向けには、「アクセスBOOKS」「つかえるえもじ」「ゲーム★スター」等を提供して

おります。

それらの結果、全体として売上高は増加しております。一方で、スマートフォンへの対応のための開発費・広告宣伝費等の増加もあり、営業損失が増加しております。

以上の結果、売上高661,582千円（前年同四半期比8.4%増）、営業損失190,210千円（前年同四半期は152,689千円の損失）となりました。

（その他）

前連結会計年度から着手していた比較的大型のソフトウェア開発案件が完了したこと等により、前年同四半期と比べた売上高は増加しております。それに伴い、損益につきましても、前年同四半期においては営業損失が発生していましたが、当第3四半期連結累計期間においては営業利益を確保しております。

以上の結果、売上高178,847千円（前年同四半期比37.9%増）、営業利益30,575千円（前年同四半期は13,556千円の損失）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、営業利益は、配賦不能営業費用及びセグメント間の内部取引による営業費用の控除前の数値であり、合計は連結営業利益と一致しておりません。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（平成23年9月末）と比較しますと、資産は233,042千円増の4,614,090千円、負債は52,662千円増の1,071,843千円、純資産は180,379千円増の3,542,246千円となりました。

資産は、流動資産につきましては、498,877千円増の3,601,740千円となりました。これは、現金及び預金が629,683千円増の2,619,307千円となったこと等の影響が、受取手形及び売掛金が105,924千円減の819,378千円、仕掛品が28,590千円減の406千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。受取手形及び売掛金の減少は、主に季節要因によります。仕掛品の減少は、主に前連結会計年度からの継続案件の完了によるものです。

固定資産につきましては、265,835千円減の1,012,350千円となりました。これは、有形固定資産が25,913千円減の197,788千円、無形固定資産が12,633千円増の292,434千円、投資その他の資産が252,555千円減の522,127千円となったことによるものです。有形固定資産が減少しているのは、本社移転等により新たな有形固定資産を取得しているものの、償却が進んでいること等の影響がそれを上回ったことによるものです。無形固定資産が増加しているのは、ソフトウェアが39,436千円増の228,385千円となったことの影響が、のれんが26,803千円減の62,541千円となったことの影響を上回ったことによるものです。ソフトウェアが増加しているのは、主に自社開発の市場販売目的のソフトウェアの取得によるものです。投資その他の資産が減少しているのは、前連結会計年度末にあった長期預金300,192千円が満期日が近付いたことにより流動資産の現金及び預金に振り替わったこと等の影響が、株式会社エムティーアイの株式を取得したこと等により投資有価証券が24,462千円増の245,336千円、本社移転等に伴い敷金及び保証金が27,091千円増の225,406千円となったこと等の影響を上回ったことによるものです。

負債は、流動負債につきましては、7,764千円増の933,365千円となりました。流動負債全体としては大きな変動とならなかったのは、1年内返済予定の長期借入金が増加した23,199千円増の69,064千円、賞与引当金が増加した21,392千円増の73,962千円となったこと等の影響と、未払法人税等が53,490千円減の92,768千円となったこと等の影響が、結果として同程度になったことによるものです。未払法人税等が減少しているのは、主に法人税等の支払によるものです。

固定負債につきましては、44,898千円増の138,478千円となりました。これは、連結子会社において新たに資金を借り入れたこと等に伴い、長期借入金が増加した46,398千円増の129,578千円となったこと等によるものです。

純資産は、株主資本につきましては、187,657千円増の3,437,728千円となりました。これは、四半期純利益219,722千円が、剰余金の配当41,650千円を上回った影響で、利益剰余金が178,072千円増の2,890,473千円となったこと等によるものです。

少数株主持分につきましては、3,760千円減の108,036千円となりました。これは、一部の連結子会社において自己株式を取得したこと、及び少数株主損失の発生によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1 四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,989,624	2,619,307
受取手形及び売掛金	925,302	819,378
商品及び製品	6,303	8,569
仕掛品	28,996	406
原材料及び貯蔵品	403	287
繰延税金資産	80,965	82,952
その他	92,192	89,746
貸倒引当金	△20,926	△18,908
流動資産合計	3,102,863	3,601,740
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,313	60,040
機械装置及び運搬具(純額)	1,734	4,208
工具、器具及び備品(純額)	118,253	83,139
土地	50,400	50,400
有形固定資産合計	223,701	197,788
無形固定資産		
のれん	89,344	62,541
ソフトウェア	188,948	228,385
その他	1,508	1,508
無形固定資産合計	279,801	292,434
投資その他の資産		
投資有価証券	220,875	245,336
敷金及び保証金	198,315	225,406
長期滞留債権	4,760	4,539
長期預金	300,192	—
繰延税金資産	38,897	38,634
その他	16,226	12,582
貸倒引当金	△4,584	△4,372
投資その他の資産合計	774,682	522,127
固定資産合計	1,278,186	1,012,350
資産合計	4,381,049	4,614,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	302,945	295,939
1年内返済予定の長期借入金	45,865	69,064
未払費用	111,322	126,251
未払法人税等	146,259	92,768
未払消費税等	9,323	16,309
賞与引当金	52,570	73,962
役員賞与引当金	8,300	6,000
返品調整引当金	3,283	2,111
ポイント引当金	25,480	34,550
その他	220,252	216,409
流動負債合計	925,601	933,365
固定負債		
長期借入金	83,180	129,578
その他	10,400	8,900
固定負債合計	93,580	138,478
負債合計	1,019,181	1,071,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	284,375	287,290
利益剰余金	2,712,401	2,890,473
自己株式	△24,079	△17,410
株主資本合計	3,250,072	3,437,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△3,518
その他の包括利益累計額合計	—	△3,518
少数株主持分	111,795	108,036
純資産合計	3,361,867	3,542,246
負債純資産合計	4,381,049	4,614,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,522,068	3,683,461
売上原価	1,611,883	1,774,249
売上総利益	1,910,185	1,909,212
返品調整引当金戻入額	4,823	3,283
返品調整引当金繰入額	2,471	2,111
差引売上総利益	1,912,537	1,910,384
販売費及び一般管理費	1,447,568	1,487,314
営業利益	464,969	423,070
営業外収益		
受取利息	386	230
受取配当金	552	815
為替差益	—	596
助成金収入	—	8,420
雑収入	9,372	3,111
営業外収益合計	10,310	13,173
営業外費用		
支払利息	1,119	1,335
為替差損	674	—
雑損失	889	117
営業外費用合計	2,683	1,452
経常利益	472,596	434,791
特別利益		
固定資産売却益	—	1,140
負ののれん発生益	—	1,550
投資有価証券売却益	—	1,000
特別利益合計	—	3,690
特別損失		
固定資産除却損	4,062	5,866
子会社株式売却損	306	—
子会社株式評価損	15,000	—
関連会社株式評価損	—	4,102
投資有価証券評価損	27,113	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,424	—
特別損失合計	47,905	9,968
税金等調整前四半期純利益	424,691	428,513
法人税等合計	202,087	209,895
少数株主損益調整前四半期純利益	222,603	218,618
少数株主利益又は少数株主損失(△)	7,185	△1,104
四半期純利益	215,417	219,722

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	222,603	218,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△3,518
その他の包括利益合計	—	△3,518
四半期包括利益	222,603	215,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	215,417	216,204
少数株主に係る四半期包括利益	7,185	△1,104

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,833,050	610,395	3,443,446	78,622	—	3,522,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	233	—	233	51,059	△51,292	—
計	2,833,283	610,395	3,443,679	129,681	△51,292	3,522,068
セグメント利益 又は損失(△)	845,198	△152,689	692,509	△13,556	△213,984	464,969

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△213,984千円には、のれん償却額△29,566千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△184,417千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	乗換案内事業	マルチ メディア事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,884,156	661,582	3,545,738	137,723	—	3,683,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	40	—	40	41,124	△41,164	—
計	2,884,196	661,582	3,545,778	178,847	△41,164	3,683,461
セグメント利益 又は損失(△)	835,313	△190,210	645,102	30,575	△252,608	423,070

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発ソフトウェア業、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△252,608千円には、のれん償却額△26,803千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△225,804千円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年11月14日開催の取締役会決議に基づき、平成23年11月17日から平成23年12月16日の期間において、市場買付により41,700株、20,335千円の自己株式を取得いたしました。また、平成24年5月10日開催の取締役会決議に基づき、平成24年5月25日に株式会社エムティーアイに対して第三者割当により55,000株、29,920千円の自己株式の処分を行いました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間において、資本剰余金が2,915千円増加し、自己株式が13,300株、6,669千円減少しております。当第3四半期連結会計期間末においては、資本剰余金が287,290千円、自己株式が35,403株、17,410千円となっています。